



巻頭特集

# 福岡市を象徴する・福岡タワー

# 夜空を彩る、イルミネーション



早良区百道浜にある福岡タワーは、1989年に福岡市制100周年を記念して行われた「アジア太平洋博覧会（通称・よかトピア）」のモニュメントとして建設されました。今ではすっかり福岡市のシンボルとなり、愛されている福岡タワーには、様々な「顔」があるのをご存じでしょうか。夜空を彩る福岡タワーのイルミネーションについて紹介します。

**福岡タワー** tel 092-823-0234

**時間**  
9:30~22:00(最終入館は閉館時間の30分前)  
**展望料金**  
大人800円、小中学生500円、幼児(4才以上)200円

イルミネーションライトアップは  
日没から23:00まで  
<https://www.fukuokatower.co.jp/>



## シーサイドももちと共に誕生した福岡タワー

ミラーセイル(光り輝く鏡の帆)の愛称でデビューした福岡タワー。昼は青空を映し、夜はイルミネーションが輝きます。

タワーの高さは234メートルあり、日本国内では東京スカイツリー、東京タワーに次いで3番目に高く、海浜タワーとしては日本一。正三角形の形をしており、側面は8000枚のハーフミラーで覆われている電波塔です。

実は、よかトピアが開催される前より、福岡市ではテレビ塔の移転構想があったのだとか。電波塔と観光スポットの両方を兼ねた新たなタワー建設計画が決定され、1987年に着工、翌年に落成しました。その年の12月にはクリスマス

マスのイルミネーションが点灯され、よかトピア開催に向けて注目を集めていました。博覧会のシンボルとして建ったタワーは、171日間の会期で約77万人の人が訪れる目玉スポットに。福岡市を360度見渡せる展望エ

リアは、現在でもたくさんの人々に感動を届けています。明かりで演出する思い出に残る光景 2013年3月には開業25周年という節目を迎え、従来使用してい

た白熱灯がLED照明にリニューアルされました。設置数は約2700個!「開館当初からイルミネーションは行われていたのですが、LEDのおかげでデザインも大幅に増えただけで」と話すのは、福岡タワーで広報を担当する中村武功さん。

だまだ技術も足りず、イカのように「だった」のどか。リニューアル以前は天の川、ハート、クリスマスツリーをシーズンごとにライトアップ。季節ごとに変化はあるけれども代り映えがなく、老朽化が目立つようになり替えられました。そして現在のイルミネーションはプログラム化され、様々なデザインを点灯することができるようになったのです。



の金魚や秋のハロウインのイルミネーションは、絵柄が動く大人気。「金魚のほかにカブトムシなども考えていました。光らせるとなるとなかなか難しいことあります」と中村さん。遠くから見ても認識でき

るよう、照明デザインナーによる緻密な配色と調整で完成しているのだと続けます。現在、季節ごとのイルミネーション9種に加え、189(児童相談所虐待対応ダイヤル)やピンクリボンなど、啓発を目的としたライトアップが約10種類点灯されています。「啓発キャンペーンのライトアップは、意味を知らない人が見かけた時には何だろうと調べてもらったり、

従来は、点灯前に形に添って白熱灯を握り付けていたため、頻繁にデザインを変えたり増やしたりするのはできませんでした。中村さん曰く、最初期に設置されていたクリスマスツリーのイルミネーションは、「ま

福岡タワーでは季節に合わせたテーマをもとに、様々なデザイン案を考えているのだそう。なかでも夏

デザインからライトアップまでは3か月以上かかるのだそう。金魚などの動くデザインは実際の金魚の泳ぎを表現するのが大変だったとか。さらに同じテーマでも飽きがこないよう、ちょっとしたアップデートが加えられることもあるそうです。

「啓発キャンペーンのライトアップは、意味を知らない人が見かけた時には何だろうと調べてもらったり、

改めて考えてもらうきっかけになると思っています。福岡市のシンボルとして、多くの人の目につく福岡タワーだからこそ、点灯するイルミネーションにはメッセージを込めたいのだと言います。中村さんは「やっぱりタワーのイルミネーションは、見てくれた人の思い出になってほしいという思いが一番あります」と話します。華やかな光を見上げ、楽しいひと時を過ごしてほしいという思いが、今日も福岡の夜空を照らしているのです。

## イルミネーションができるまで

1 社内でテーマに沿った案出しをし、照明デザイナーからデザインパターンが。その数は100以上にのぼることも。



開業20周年を迎えた2009年に誕生したマスコットキャラクター「フータくん」



2 タワー内部に設置された2,700個ものライトでプログラミングされた明かりをテスト点灯。みなが寝静まった深夜に行われます。



完成! デザインからライトアップまでは3か月以上かかるのだそう。金魚などの動くデザインは実際の金魚の泳ぎを表現するのが大変だったとか。さらに同じテーマでも飽きがこないよう、ちょっとしたアップデートが加えられることもあるそうです。

## 楽しさいっぱい福岡タワー

イルミネーションだけでなく、館内も日々アップデートを続けている福岡タワー。そのポイントを紹介しします。



1 カードに印刷された風景と同じ場所を探し、スタンプを押すスタンプラリー。子どもたちにも人気なのだとか 2 最近「推し活」で訪れる人も多く、ぬいぐるみや推しを象ったアイテムで記念撮影するコーナーも作られています 3 もつ鍋や金印など、福岡ならではのアイテムを象ったフィギュアがゲットできる天空ガチャ(1回500円) 4 カップルで記念撮影が楽しめる恋人の聖地が

